

# 奈良県感染症情報

平成 30 年 第 35 週( 8 月 27 日～ 9 月 2 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(8月)

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	3.18	(1.79)	↑↑↑	↑↑↑	↑	↑↑↑
2	感染性胃腸炎	2.56	(3.47)	→	↘	→	↑
3	ヘルパンギーナ	1.12	(1.50)	↘	↘	↘	↓
4	手足口病	0.94	(0.74)	→	→	→	↓
5	A群溶連菌咽頭炎	0.85	(1.00)	↘	↘	↘	→

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 **少し流行** 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

RSウイルス感染症の報告数が更に増加しています。中和保健所管内や郡山保健所管内での報告数が特に増加しています。生後数ヶ月までの乳児や高齢者が感染すると重症化しやすいため注意が必要です。感染経路は咳やくしゃみ、会話をした際に飛び散るしぶきを浴びて吸い込む飛まつ感染や、ウイルスがついている手指や物品を触ったり又はなめたりすることによる間接的な接触感染です。流行する時期には、軽くても症状がある成人や年長児は、乳児や高齢者には近づかないようにする注意が必要です。手洗いやマスクの着用も行いましょう。こどもが日常的に触れるおもちゃや手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。

## ◆ 病原体(ウイルス)検出情報(平成 30 年 8 月) ◆

\*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
A群ロタ G9		1			感染性胃腸炎(1)
EB		1			発疹症(1)
RS		1			急性上気道炎(1)
アデノ 4		2			感染性胃腸炎(2)※
アデノ 5	1	1		1	不明熱(1)、強い頭痛を伴う咽頭炎(1)、手足口病(1)※※
コクサッキーA群 6		3			発疹症・扁桃炎(1)、手足口病(2)※※※、※※※※
コクサッキーA群 9			1	1	発疹症(1)、手足口病(1)※※
コクサッキーA群 10		1			ヘルパンギーナ(1)
コクサッキーA群 16			1		手足口病(1)
サイトメガロ	1	1			突発性発疹・喘息様気管支炎(1)※※※※※、咽頭結膜熱(1)
サポ		1			感染性胃腸炎(1)
ノロ GII.2		4			感染性胃腸炎(4)※
ヘルペス 6B	1	1			突発性発疹・喘息様気管支炎(1)※※※※※、鼻咽頭炎(1)
ライノ		7		1	急性上気道炎(1)、肺炎(1)、発熱(1) 感染性胃腸炎・急性気管支炎・パレコウイルス感染症疑い(1)、ウイルス性筋炎疑い(1) 手足口病(3)※※※、※※※※
ライノ A		2			ヘルパンギーナ(1)、不明熱・下肢痛(1)

※、※※、※※※、※※※※、※※※※※重複感染

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 35 週 8 月 27 日 ~ 2 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	11 (0.20)				11 (1.10)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	108 (3.18)	13 (1.44)	35 (3.89)	23 (3.29)	33 (5.50)		4 (2.00)	
咽頭結膜熱	8 (0.24)	2 (0.22)		3 (0.43)	3 (0.50)			
A群溶連菌咽頭炎	29 (0.85)	6 (0.67)	1 (0.11)	5 (0.71)	15 (2.50)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	87 (2.56)	9 (1.00)	17 (1.89)	22 (3.14)	34 (5.67)		5 (2.50)	
水痘	3 (0.09)			1 (0.14)	2 (0.33)			
手足口病	32 (0.94)	10 (1.11)	7 (0.78)	6 (0.86)	8 (1.33)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	7 (0.21)	2 (0.22)		2 (0.29)	3 (0.50)			
突発性発しん	17 (0.50)		1 (0.11)	9 (1.29)	6 (1.00)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ	38 (1.12)	6 (0.67)	13 (1.44)	12 (1.71)	7 (1.17)			
流行性耳下腺炎	1 (0.03)				1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	13 (1.30)	1 (0.33)	4 (1.33)	5 (2.50)	3 (1.50)			
基幹定点数	6	7	2	7	7	0	7	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核10件(奈良市4、郡山4、中和2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(吉野1) 梅毒1件(中和1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 百日咳1件(奈良市1、6歳) 急性弛緩性麻痺1件(中和1)

❖ 第35週のトピックス ❖

◆特集 水痘・帯状疱疹の動向とワクチン(IASR2018年8月号)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/varicella-m/varicella-iasrtpc/8223-462t.html>

◆2018年第33週までのA型肝炎の報告状況(国立感染症研究所 感染症疫学センター)  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/1558-disease-based/a/hepatitis/hepatitis-a/idsc/idwr-sokuhou/8287-hepa-180831.html>  
 感染症発生動向調査において、2018年第2週以降のA型肝炎の増加傾向が観察されている。A型肝炎の感染経路は食事等の経口感染の他に、性的接触があり、特に2018年は男性の同性間性的接触による感染が増加している。

上段 : 報告数  
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			1		1	1		2	1	1											7	7848	
	女														1	1						4	7815	
RSウイルス感染症	男	4	3	36	14	5	1															63	306	
	女	2	7	23	11	1	1															45	248	
咽頭結膜熱	男			4																		6	231	
	女				1				1													2	202	
A群溶連菌咽頭炎	男			1	4	7	1	2	1						2							18	1137	
	女				1		1	1	2	2	1	2	1									11	1006	
感染性胃腸炎	男		5	7	5	2	5	2	4	2	1	1	4	1	6							45	3267	
	女		8	5	8	2	3	1		2		1	4	1	7							42	2858	
水痘	男												1									2	152	
	女													1								1	167	
手足口病	男	1	4	3	5	1	2	1														17	292	
	女			7	3	2	1	2														15	238	
伝染性紅斑	男			1	1			1														3	99	
	女						3	1														4	105	
突発性発しん	男		3	5			1															9	256	
	女		1	6		1																8	233	
ヘルパンギーナ	男		1	8	4	1		2	1	1			1									19	420	
	女			5	5	5		2	2													19	356	
流行性耳下腺炎	男																						1	47
	女						1															1	34	
急性出血性結膜炎	男																							1
	女				1			1							1	3						6	83	
流行性角結膜炎	男														1	1						7	89	
	女														1	1						2		
細菌性髄膜炎	男																						5	
	女																						6	
無菌性髄膜炎	男																						5	
	女																						1	
マイコプラズマ肺炎	男																						13	
	女																						15	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						32	
	女																						22	

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

